

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名【新】ぎふモーニングプロジェクト推進事業費（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

観光文化スポーツ部 ねんりんピック推進事務局 モーニングプロジェクト推進チーム 電話番号：058-272-1111(内2693)
E-mail：c11175@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 6,640 千円 （現計予算額： 0 千円）

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	6,640	3,140	0	0	0	0	0	0	3,500
決定額	6,640	3,140	0	0	0	0	0	0	3,500

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

第37回全国健康福祉祭岐阜大会（ねんりんピック岐阜2025）の県民運動として実施した取組を一過性のものとせず、健康福祉部と連携しながら、本県が全国に誇る喫茶店のモーニング文化を生かした事業を通じて、県民の「美味しい」「楽しい」「ワクワク」体験を創出し、引き続き健康長寿社会づくりを進める。

（２）事業内容

【ぎふモーニングスタンプラリー】

- ・登録店舗を巡り、スタンプを集める企画（デジタル形式（専用アプリ）で実施）
- ・スタンプの個数に応じて抽選で賞品をプレゼント

【ぎふ健康モーニングコンテスト】

- ・テーマに沿ったモーニングメニューのコンテストを実施
- ・有識者による審査（書類・試食）により、上位メニューを決定
- ・上位入賞メニューは、店名とともに県のホームページ等で広くPR

(3) 県負担・補助率の考え方
県1/2

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	105	審査員謝金
旅費	370	
需用費	983	消耗品費545、印刷製本費438
役務費	378	郵送料等
委託料	4,472	スタンプラリー事務局運営、コンテスト会場設営費等
使用料	332	
合計	6,640	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

10の目標「お年寄りや障がいがある方が活躍できる場や居場所をつくる」

(2) 国・他県の状況

モーニングプロジェクトは岐阜県独自の事業である。

(3) 後年度の財政負担

次年度以降は未定。

(4) 事業主体及びその妥当性

一般社団法人日本セルフケア推進協議会との連携協定（R7.8.19締結）に基づき、県と協議会が連携し事業を実施。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

人生100年時代に向けて、「美味しい」「楽しい」「ワクワク」をキーワードに、食事、運動、ストレスマネジメントを通じて、日常生活の中で意識することなく、自然と健康になる（免疫力を高める）仕組みづくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

本事業の主目的は喫茶店のモーニング文化の周知・啓発であり、指標を数値化することができないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	人生100年時代に向け、健康寿命の延伸や介護やフレイル(心身の衰え)への取組が必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降の事業については要検討。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	【〇〇課】